

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期 平成 23 年 8 月

テーマ ふる里の再生に懸命に取り組んでいます

寄稿者 宇仁郷まちづくり協議会

加西市の宇仁郷は、加東市に隣接し 6 町で構成されている静かな農村地域です。
 最多値で 2,200 名あった人口が、平成 12 年には少子化の進展により 2,000 人を割り込むまでに至りました。

現在の少子高齢化は地域社会にひずみを生じ、高齢化とともに米価の低迷は農業の担い手不足を生む一方、少子化の進展が小学校の存続問題にまで進展してきました。

地域の存続に危機感を覚え、平成 20 年に北播磨県民局の指導を受け、地域の各種団体を網羅した「宇仁郷まちづくり協議会」を設立。

県民交流広場事業の助成を受け“ふる里の再生”に取り組んできました。

その活動の一端をここに紹介します。

これまで、築 50 年、老朽化した木造の小学校の建て替えを陳情してきましたが、困難な状況が続く中、児童の減少が小学校の統廃合につながっているとの認識を持ち「子供が増える住みやすいまちづくり」をしていかなければ、小学校の存続と改築はできないと地域が課題を共有しました。

そこで、地域の皆さんに

- (1) 小学校は心のふる里です
 - (2) 地域が子育て支援をしましょう
 - (3) 魅力のある宇仁郷にして U ターン・I ターンを促進し人口を増やしましょう。
- をキャッチフレーズに掲げ、
- (4) 高齢者の元気な力を社会に還元してください
 - (5) お母さん方の知恵を貸して下さい
- と呼びかけをしました。

今、つぎの 7 つのプロジェクトにより活動を展開中です。

- 1 宇仁校区子育て支援センター・・・
5 歳児・学童保育を 50 名のボランティアで支えています
- 2 宇仁の里・花畑街道部会・・・
4 月の菜の花祭り（約 5ha 栽培）

10月のコスモス祭り（約5ha栽培）

兵庫県と協定を結んでアドプト事業（※）に参画。

コスモスを県道の路肩に咲かせています

3 宇仁の朝市・・・

毎土曜、日曜日に開催。中高年による野菜作りの技を地産地消に生かしています

4 住宅部会・・・

市街化調整区域の一部に誰でも家が建てられるように、兵庫県の認可を得て都会に「宇仁郷に住んでみませんか」をPR。

都会からの人の定住に夢膨らませています

5 里山ふれあいの森部会・・・

県の助成により住民がボランティアで里山整備を行い、地域の人や都会の人たちに散策、また森林浴を堪能していただいています

6 ふれあい交流広場部会・・・

ふれあい喫茶を月二回、パソコン教室を週一回、子育て教室は月一回の開催。

不定期に児童画展・絵画展、うた声広場も実施

7 交流プロジェクト・・・

芦屋市「翠ヶ丘まちづくり協議会」との交流も2年目を迎え、6月には田植え、10月には刈り取り、12月に餅つきをします

宇仁小学校の児童も出向いて、7月に芦屋浜潮ビーチで環境学習を行いました

残すところ1年、平成24年度末には県民交流広場の事業支援が終わりますが、自立に向け努めたいと、日々黙々と活動を進めています。

<トピックス>

H22年度

- ・加西市長より「まちづくり大賞」を受賞
- ・兵庫県知事より「子育て元気アップ賞」を受賞

H23年度

- ・宇仁小の改築基本設計 26年春新校舎完成
- ・協議会の運営経費 各戸1000円/年 徴収を開始
- ・住民基本台帳によれば宇仁郷の出生数減少に歯止めがかかりつつあります

※ 英語で「養子縁組」のこと。

行政と市民が二人三脚で協力し合って進める清掃美化活動等。